

コース
ガイド

美ガ原、自転車
上る高原の楽しさ

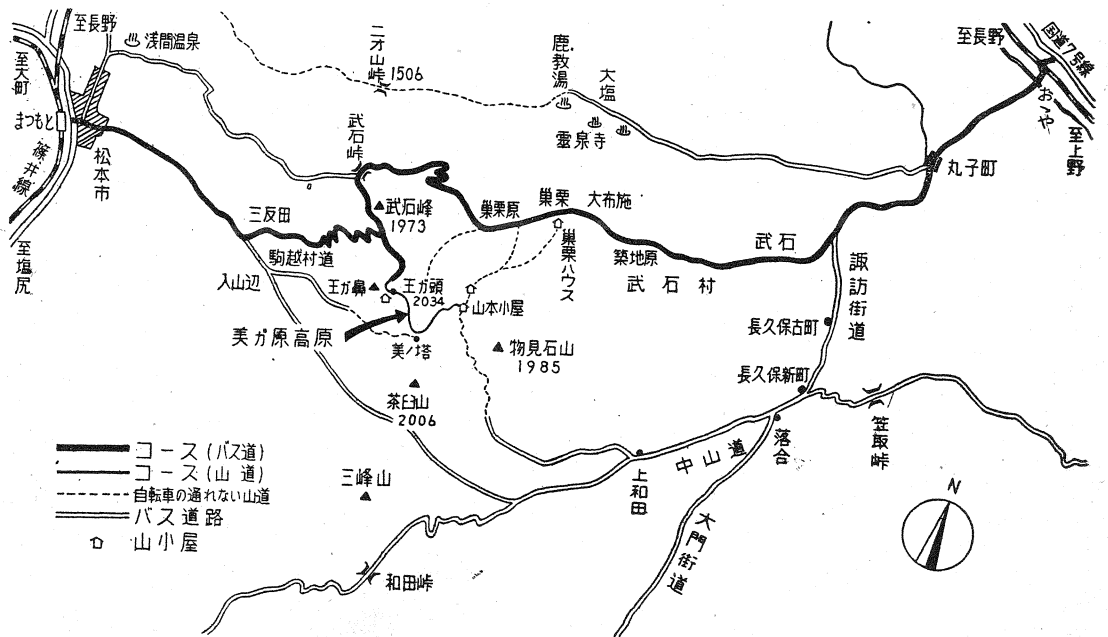
山本秀男



駒越林道から北アルプスを見た処

松本駅を降りると市内電車の通る大通りの真正面に、一きわ高い山が空を劃している。右肩上りのゆるい斜面は、小さくは見えるが頂上が平であることを思わせる。そこが美ガ原の西端、王ガ鼻である。

また中山道の旅をしたことのある人なら笠取峠の西側をやや下った所から、頂が平になっている高い山を見た記憶があるに違いない。それが東から見た美ガ原だ。一番高い所が王ガ頭で二、〇三四米、NHKのテレビ中継所がそのテッペンにそびえて以来、歩かずにこの高原に立てることになった。かつて北アルプスから下山した人が、美ガ原に登って、もう一度遠方から北アルプスを眺めた。そういう高原であったことを知る人は、ハイヒールで登ってくる婦人を見て、俗化したと嘆くわけである。実は私も暴風の夜の山小屋高原荘で一夜を明したが、朝食をたべて濃霧の中にでたら、下から派手な男女が続々と歩いて来たのを見て、少々くさらされた。一番



のバスが登ってきたわけである。だが、その展望は素晴らしい。私は山小屋をバスで来た人に占領されて濃霧の中に出てしまったが、

だが、一分の何分の一秒かで隠れた。もし晴れていたら、どんなだろうと残念がらぬわけにはいかなかった。

たのである。装備は普通のサイクリング車で、ハンドルはオールラウンダーといつて上り型のハンドルで、変速機はスターメアーチャー

大きな看板をみつける。そこが岐れ道で、右へ曲ればあと一本道を辿るのみだ。最奥の部落、栗原は

栗拾い、茸狩。一〇月は紅葉で、もうアルプスに新雪が輝き、一月は高原の草木は寂しいが展望に



のバスが登ってきたわけである。だが、その展望は素晴らしい。私は山小屋をバスで来た人に占領されて濃霧の中に出てしまったが、バスの終点まで下つて来たなら霧がさつと晴れた。どれが常念で、どれが穂高でと考えるひまがない。圧倒されていると再び霧がとぎす。また霧がどく。こんどは戸隠の方から白根、浅間まで見えた。

だが、一分の何分の一秒かで隠れた。もし晴れていたなら、どんなだろうと残念がらぬわけにはいかなかった。晴れていれば美ガ原は四方の山が全部見えるという。もう一度いきたいと思うのは、その霧の間に瞬間に見た山の姿の美しさのためかも知れないが、それは峠の展望がどれほどよくても、ここには及ばない筈だ。残念がりがながら駒越林道を下りはじめたら、霧の外に出られた。そこはもう三六〇度の展望が得られなかつたが残雪の輝く北アルプスの山なみを一望にすることができた。

さて、雪の季節とその前後を除けば、この高原に自転車で登れることをお報せしなければならぬ。私も実は自転車で登つ駒越林道のつづら折

たのである。装備は普通のサイクリング車で、ハンドルはオールラングーといつて上り型のハンドルで、変速機はスターメーターチャイのFW、ワイドレインショーの四段である。チェンリングを四六にスプロケットを一九にしたから、普通の三段のチェンジギヤよりも大部レインショーは落ちるが、それでもダブルギヤを使う程楽ではない。この装備では正直にいつて、この美ガ原に登るのは楽ではない。休む時間の方が多くなるといつたところであつた。まず、ツールングタイプのダブルギヤを装備した車を使うことを前提と考えた方がよい。でなければ押して歩くかである。

私のたどつたコースは武石村から登る道で、松本側は下りに通つた。裏から入るといふ感じだ。鹿教湯温泉を朝八時に出て一旦丸子町に戻り、武石村経由で武石峠にたつた。一番苦しいのは栗原原から新道がヘアピンになる所まで、武石峠までくれば、もうあとはゆうゆうと高原への道を遊びながら走れる。この道に入るのに別に迷う心配はない。丸子町から和田峠へいく諏訪街道を辿ると、「美ガ原へ二八軒」と書いた上田丸子電鉄のバスの、とてつもなく

大きな看板をみつける。そこが岐れ道で、右へ曲ればあと一本道を辿るのみだ。最奥の部落、栗原はもう開拓部落で、山の深いことがわかる。栗原ハウスを過ぎれば、もう美ガ原までは食料を求めることはできない山道だ。武石峠で松本から来た道と合するが、ここから駒越林道と合するところまでが三軒、道は草原の起伏を走ることになる。もう三軒走ると王ガ頭のNHKの無線塔に達する。ここに高原荘という山小屋があり、二食付六〇〇円から八〇〇円で泊める。これは山本小屋と同じぐらいの筈。更に三軒いくと美ノ塔、一軒足をのばせば山本小屋だ。この辺が自転車でいける限度だ。この先物見石高原がある。この辺は馬の放牧地だ。

私の訪ねたのは五月初旬だったので、まだ草も緑はもえず、日陰には残雪も僅かながら見られ、アルプスの展望だけが見物の季節であつたが、美ガ原観光暦は六月が自転車、平追平附近で鈴蘭とつつじ、七月が高原一帯につつじ、鈴蘭、草いちぢの花盛り、中旬すげの花、高山植物が多く咲きはじめるという。八月は上旬がいちご結実、中旬松虫草、りんどう等が咲き、秋がくる。九月は甘露梅結実

栗拾い、茸狩。一〇月は紅葉で、もうアルプスに新雪が輝き、一月は高原の草木は寂しいが展望には最もよい季節だといふ。それから先は四月迄雪の世界になるわけだ。

王ガ頭から松本までは駒越林道を下つて二四軒ほど。急坂なのでブレーキの点検だけは怠れない。山小屋の主さえ、ブレーキの点検はいいかねと注意してくれる。二、三時間かけるつもりで下れば、途中、ところどころで絶景を楽しむことができる。路面は山道にしてはよい方だが、自動車が多いし、急カーブが多いから注意するに越したことはない。

X X X

汽車 上野—大屋 二三時五〇分
 分発の夜行普通で六時間二〇分
 乗車券四一〇円、自転車二四〇円(貨物)
 松本—新宿 二〇時四一分発
 行で七時間五〇分、五三〇円。
 一七時一五分発準急(不定期)
 で五時間四〇分、六五〇円。一
 六時三〇分発の急行第二アルプ
 スで四時間二五分、七六〇円。
 自転車は四一〇円(小荷物)